

## 学 術 活 動

## 平成17年度福島県立医科大学看護学部公開講座委員会活動報告

平成17年度の看護学部公開講座は、「豊かな老後を目指して～中高年からの健康づくり～」を統一テーマに開催した。

例年、複数回開催していたが、今年度は平成15年3月に出された学部の公開講座についての自己点検・自己評価報告書にある実施方法の改善をふまえて、シンポジウム形式を取り入れ、年1回の実施とした。テーマについては、学部教員と前年度参加者からのアンケート結果をもとに委員会で検討し、決定した。シンポジストとしてサブテーマにふさわしい講師を、学内から1名、学外から2名招来した。

最初のシンポジストは本学部形態機能学領域前教授・水野兼志先生で、「生活習慣病の予防」と題して、生活習慣病の中でも糖尿病、動脈硬化を中心にその成因、予防、治療について分かりやすくレクチャーされた。

2番目のシンポジストは東海大学健康科学部看護学科教授・深谷安子先生で、「高齢者の理解と生活援助～

ADLの拡大を目指して～」と題して、看護職の立場から講演された。深谷先生は老人看護学を専門にし、これまでADLについて研究されているが、本講座では看護職—老人間のコミュニケーションについて、興味深い研究結果を示された。

最後のシンポジストは快フィットネス研究所所長の吉井雅彦先生で、「健康づくりのための運動～心地よさを目安にして～」というサブテーマで、実技を取り入れながら講演された。健康づくりのために運動は欠かせないものであるが、頑張りすぎないことが大切であることを、ユーモアをまじえながら話された。

平成18年度から大学が法人化されることから、看護学部主催の公開講座は今年度をもって最後となる。法人化後の大学主催の公開講座によって、大学の知的資源が広く地域住民に還元されるような、そのような公開講座の検討が今後の課題と思われる。

(公開講座委員会委員長・宮岡久子)

テ ー マ	対 象	参 加 者
統一テーマ「豊かな老後を目指して～中高年からの健康づくり～」	地域住民・看護職	60
①生活習慣病の予防		
②高齢者の理解と生活援助～ADLの拡大を目指して～		
③健康づくりのための運動～心地よさを目安にして～		